

とういん

議会だより



ゴールを目指して全力疾走（三和小学校）

平成30年10月19日

9月定例会

発行 三重県東員町議会

137号

防犯灯のLED化完了（決算）…………… 2

議員政治倫理条例を改正 …………… 8

町政を問う …………… 10

委員会活動レポート …………… 19

LED化整備完了

議会運営費 938万3025円



主な支出は先進地調査研修費などです。議員控室に事務机を配置し、環境整備を行いました。

防犯事業費 1202万2575円



主に防犯灯の電気代、修繕料などです。平成29年度で町内全ての防犯灯のLED化が完了しました。

9月定例会は、9月3日から21日までの会期で開かれました。
平成29年度決算、平成30年度一般会計補正予算や国保・介護特別会計補正予算、水道事業会計補正予算、条例など、認定6件と議案8件、発議3件を全会一致、一部賛成多数で原案のとおり認定・可決しました。

認定
施策の効果をチェックしました

主な質疑

問 防犯灯を全てLEDにして、電気料金はどう変わりましたか。

答 (町民課長補佐) 約400万円の削減になりました。

問 自主防災活動補助実績の内容は。

答 (危機管理室長) 防災訓練の資機材などの経費が対象です。実績は、炊き出し訓練、トランシーバー、給水袋、自主防災ヘルメット、簡易トイレ、動力ポンプなどです。

問 義務的経費が増えた理由は。

答 (財政課長補佐) 職員の年齢構成に伴う人件費、扶助費では社会保障に係る費用、公債費では臨時財政対策債が増加となりました。

問 入札について、毎年実施する固定した事業の落札率が、毎年同額になるのはおかしいと思う。他の市町では単価が毎年上がっていますが、実績を伺います。

答 (総務部長) 落札率が80%であっても、翌年は、実績とは別に標準単価での設計で行っているため、毎年下がっていくことはありません。

コミュニティバス事業費 6631万3385円



天井にセンサー

主にバスの運行業務委託料です。運行状況が確認できるロケーションシステムと、乗降者数が確認できるセンサーを設置しました。

防犯灯の

保健福祉センター経費 9033万7954円



検診などの活用と、療育室整備のため改修をしました。

問 施設の電気をエネットに切り換えた効果は。
答 (総務課長補佐) 710万円ほどの削減効果がありました。
問 敬老会について、75歳の参加者は28年度に比べて多くなっていますが、今後の敬老行事についての考えはどうか。
答 (長寿福祉課長) 敬老事業の補助金のあり方について、財政健全化の会議で全庁的に検討しています。

問 昨年9月に補正計上した学校施設整備計画検討委員会経費はどのようになりましたか。
答 (教育委員会事務局長) 駅前開発と併せて協議していましたが、町長部局との調整がずれ、執行できなかったため報償費の不用額に含まれています。
問 こども歌舞伎の入場料はどこに計上されていますか。
答 (社会教育課長) 松の会への委託料と相殺(そうさい)していますので計上されていません。委託料と入場料を区別して整理するようにしていきます。

小学校施設整備経費 5135万1355円
 中学校施設整備経費 1680万7522円



稲部小学校校舎および神田、笹尾西小学校体育館のトイレなどを改修しました。第二中学校体育館トイレやフェンスなどの改修をしました。

郷土資料館経費 419万918円



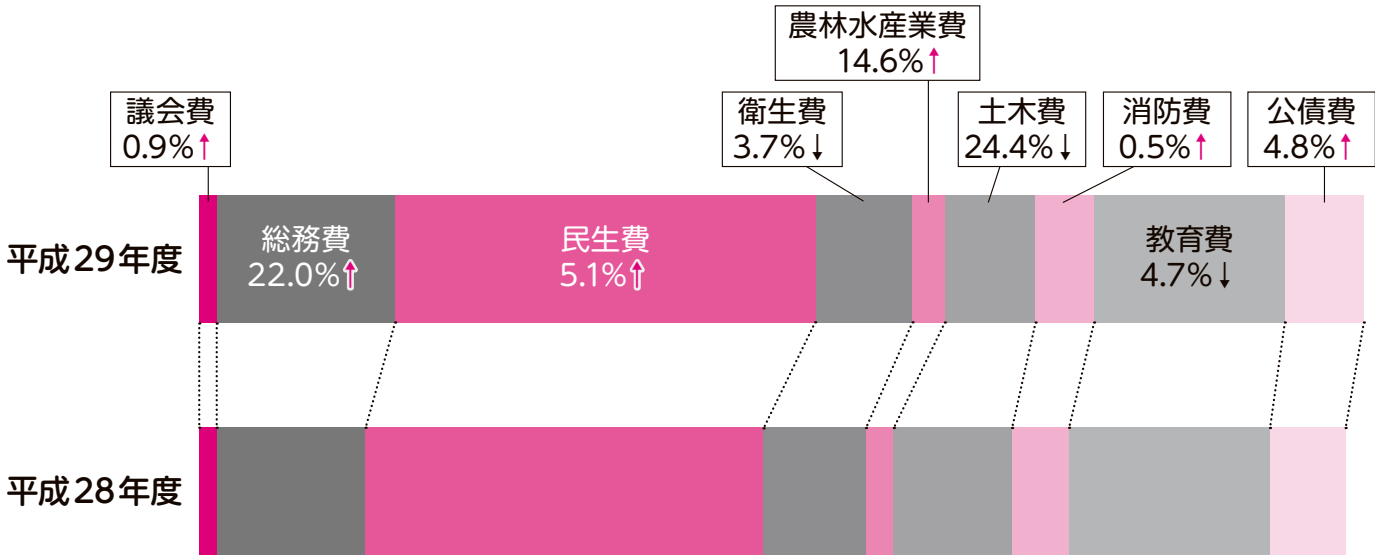
城山小学校の空き教室を改修して、郷土資料館を移転させました。

平成29年度に使ったお金

一般会計

前年度比
1億2150万902円
(1.6%) 増加

77億8002万1841円



内 訳

民生費	町民のみなさんの一定水準の生活と安定した社会生活を保障するのに必要な経費です。	28 億 1297 万 7048 円
教育費	教育委員会の費用・学校教育・社会教育・保健体育などに係る経費です。	12 億 7766 万 6217 円
総務費	全般的な管理事務、庁舎管理、町税の賦課徴収、戸籍、選挙費用などです。	11 億 8349 万 1056 円
衛生費	健康で衛生的な生活環境を保持するための経費です。予防接種、ごみ処理などの費用です。	6 億 4910 万 7847 円
土木費	町民のみなさんが使う道路・公園などの建設や維持管理、都市計画に係る経費です。下水道事業特別会計への支出も含まれます。	5 億 9209 万 2721 円
公債費	借りたお金の返済金（元金と利子）です。	5 億 2762 万 9638 円
消防費	消防や災害対策などの経費です。	3 億 9277 万 6306 円
農林水産業費	農林水産業の振興に係る経費です。	2 億 274 万 9088 円
議会費	議会活動に必要な経費です。	1 億 2382 万 9060 円
商工費	商工業の振興、観光などに係る経費です。	1437 万 9190 円
労働費	労働福祉の事業に必要な経費です。	332 万 3670 円

平成29年度特別会計・企業会計決算の状況は

国民健康保険	予算現額は 34 億 942 万 8 千円で、収入済額は 35 億 6802 万 86 円（前年度比 1.8% 増）、支出済額は 32 億 6859 万 1196 円（前年度比 0.1% 増）となり、歳入歳出差引残額 2 億 9942 万 8890 円となりました。被保険者数は 5618 人で、215 人の減少となりました。 賛成多数 で認定しました。
後期高齢者医療	予算現額は 2 億 8110 万 6 千円で、収入済額は 2 億 7758 万 7571 円（前年度比 8.3% 増）、支出済額は 2 億 7127 万 3170 円（前年度比 6.1% 増）で歳入歳出差引残額 631 万 4401 円となりました。 被保険者数は 2902 人で 131 人の増加となり、三重県後期高齢者医療広域連合への納付金は 2 億 6847 万 8117 円で 1541 万 7286 円の増額でした。 全会一致 で認定しました。
介護保険	予算現額は 20 億 3272 万 3 千円で、収入済額は 18 億 7923 万 6255 円（前年度比 14.7% 増）、支出済額は 15 億 8565 万 8077 円（前年度比 10.6% 増）で歳入歳出差引残額 2 億 9357 万 8178 円となりました。 賛成多数 で認定しました。
下水道事業	予算現額は 9 億 1539 万 4 千円で、収入済額は 9 億 6033 万 4388 円（前年度比 0.7% 減）、支出済額は 8 億 7147 万 4281 円（前年度比 2.0% 減）で歳入歳出差引残額は 8886 万 107 円となりました。 全会一致 で認定しました。
上水道事業	収益的収支決算では、事業収益 2 億 6882 万 849 円に対し、総費用 2 億 3746 万 9897 円で、収支差し引き 3135 万 952 円の黒字決算でした。 小規模住宅開発により給水戸数は 9461 戸となり、前年度より 127 戸増加しました。供給単価は県内で最も安価な 78 円 / m ³ です。 全会一致 で認定しました。

国民健康保険

反対討論（大崎議員）

一人当たりの保険料は、前年度より約 500 円減の 12 万 6213 円で県下では高い保険料です。滞納収納率は改善傾向ですが、短期証は 108 件の発行です。

繰越金の一部を活用することで保険料の引き下げは可能と考え反対します。

賛成討論（川瀬議員）

保険給付や保険事業など、健全な事業運営がされています。

収納率向上などに努め、保険財政の健全運営が適正に執行されていることから、認定すべきと考え賛成します。

介護保険

反対討論（大崎議員）

新総合事業への移行で、介護認定者や要支援給付者が減になり、給付費は大幅な削減です。軽度者へのサービスを切り下げ、減少となりました。

また、要支援者の追跡調査の実施を求め反対します。

賛成討論（川瀬議員）

社会全体で支える制度として、介護給付事業や介護予防サービス事業が精力的に行われています。

収納率向上に努め、保険財政の健全運営が適正に執行されていることから、認定すべきと考え賛成します。

安定した安全・安心の暮らしを 今後も増える老朽化対策費用

既定予算に歳入歳出それぞれに 2894 万 9 千円を増額補正し、予算総額は 75 億 1548 万 9 千円となりました。

賦課徴収経費 1500万円

法人町民税の過年度分の確定や修正申告に伴い、還付金を増額します。

障害者自立支援事業 55万1千円

制度改正による障害者自立支援給付支払等システムの改修費用です。

水道事業会計繰出金 1700万円

地方公営企業繰出基準に基づき、水道事業会計へ出資します。

土地改良事業 △417万4千円

農業用施設修繕料 122 万 6 千円
調査設計委託料 △ 540 万円



ファブリダム

戸上川ファブリダムを修繕します。

放課後児童対策事業 41万1千円

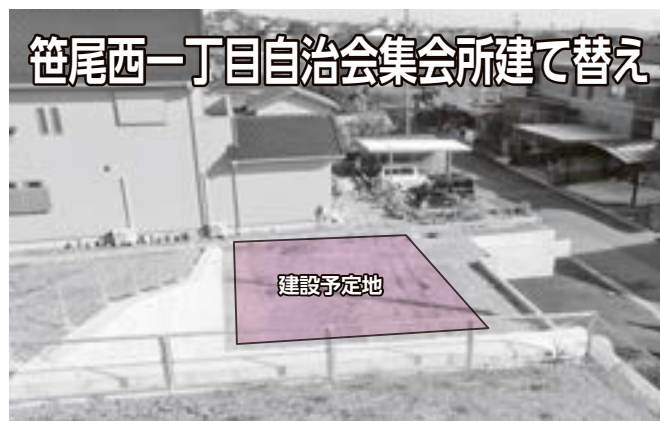


三和学童保育所

安全を確保するために防犯カメラシステムを設置します。

地域振興事業費 30万円

自治会集会所整備事業補助金 △ 750 万円
コミュニティ助成事業補助金 780 万円



笹尾西一丁目自治会集会所建て替え

建設予定地

補助率が高い自治総合センターのコミュニティ助成事業補助金に切り替えます。

主な質疑

問 防犯カメラは今後、他にも設置する予定はありますか。

答 副町長 犯罪抑止力としての防犯カメラを設置するなど、必要に応じて対処していきます。

問 ファブリダム修繕はどのような内容ですか。

答 産業課係長 設置から約 40 年経過しており、表層部分の補修や配管やバルブ部分の空気漏れ修繕を緊急で行います。

問 (二財)自治総合センターはどういう組織ですか。

答 町民課長補佐 地方自治の調査研究や環境保全、振興事業の助成事業を行っています。その中で宝くじ社会貢献広報事業があります。

国民健康保険

平成29年度国民健康保険療養給付費等交付金の精算に伴う償還金の増額補正です。

既定予算に歳入歳出それぞれ159万1千円を増額補正し、歳入歳出予算の総額はそれぞれ29億7139万1千円となりました。

全会一致で可決しました。

水道事業

既定予算の資本的収入に1700万円を増額補正し、資本的収入予定額を2億1386万1千円とするものです。

内容は、建設改良費の内「低区配水池増強事業」に伴う財源収入について、公営企業繰出基準により、事業費の2分の1に当たる1700万円を、一般会計から出資金として繰り入れるものです。

全会一致で可決しました。

介護保険

平成29年度介護保険特別会計の支払基金交付金の精算により、交付金を返還するものです。

既定予算に歳入歳出それぞれ388万9千円を増額補正し、歳入歳出予算の総額はそれぞれ16億4358万9千円となりました。

全会一致で可決しました。



新たに配水池の建設予定

財産の取得

「みえ 森と緑の県民税」市町交付金を活用し、町内の保育園・幼稚園6園に大型滑り台やブロッツトンネルなど、三重県産木材で作られた遊具を設置します。また、小学校6校に木製ベンチを購入し設置します。

財産の処分

旧員弁郡出身の戦没者慰霊碑付近にある、東員町といなべ市の共有名義の土地1693.56平方メートルを、員弁土地開発公社に718万1080円で売却することになりました。

主な質疑

問 戦没者慰霊祭行事は、今までどおり東員町民は参加できるのですか。

答 総務課長 これまでと同様に参加できます。



元気いっぱい（城山小学校）

政治倫理条例の改正 賛成多数で可決

清潔で民主的な町政の発展に寄与するため、暴力団や反社会勢力との関係を根絶する必要があります。これらの団体と利害関係を持たないとする条文を、第4条7号に追加しました。

また、町が補助・助成する団体との関わりについて、町民から疑惑を抱かれないようにするため、法令順守はもちろん、倫理観や姿勢を規定するため、第12条を明確にしました。

賛成多数で可決しました。
(提出者・議会運営委員会)

主な質疑

問 第12条ですが「実質的に代表をやっている、運営している」という言葉だけで一人歩きすることが議員として迷惑する人がいます。補助団体の部会の長や技術ア

ドバイザー、あるいは自治会の班長は該当しますか。
答 この政治倫理条例には当たりません。

反対討論（水谷議員）
我々も地域の人材であり、得意分野があると思います。地域でできることにどう貢献していくかが私の考えです。地域貢献を妨げるようなことは、私は認められませんが、私では反対します。

賛成討論（三宅議員）
国、県、町の補助金300万円あまり受けている団体の実質的な運営に関わっている議員がいるのと、ここで、協議をしました。具体的に書いていなかったために、問題になりました。議員として襟を正して、議会活動に取り組んでいくために必要なものであると考え賛成します。

改正前	改正後
(政治倫理基準) 第4条 議員は、地方自治法(昭和22年法律第67号。以下「法」という。)、公職選挙法(昭和25年法律第100号)、政治資金規正法(昭和23年法律第194号)等の規定とともに、次に掲げる政治倫理基準(以下「政治倫理基準」という。)を遵守しなければならない。 (1)～(6) (略)	(政治倫理基準) 第4条 (略) (1)～(6) (略) (7) 東員町暴力団排除条例(平成23年東員町条例第1号)第2条第3号に規定する暴力団若しくは同条第4号に規定する暴力団員又はこれらと社会的に非難されるべき関係を有するものと利害関係をもたないこと。
(補助団体等の役員の就任に関する遵守事項) 第12条 議員は、町が補助又は助成をしている団体等の役員に就任しないよう努めなければならない。	(補助団体等の役員の就任に関する遵守事項) 第12条 議員は、自己の地位に基づく影響力を行使することによって、町民に疑惑を持たれないようにするため、町が補助又は助成をしている団体等の役員に就任しないよう努めなければならない。 <u>この場合において、当該団体等の実質的な運営にも関わらないものとする。</u>

下線部分を改正・追加しました。

国に意見書を提出しました

- ◆学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書
- ◆児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書

川瀬孝代議員から提出され、採択されました。



各議員の賛否

平成30年第3回(9月) 定例会

審議結果	議員名	大谷勝治	片松雅弘	三林浩	石垣智矢	山崎まゆみ	近藤敏彦	島田正彦	南部豊	水谷喜和	鷺田昭男	川瀬孝代	三宅耕三	山本陽一郎	大崎潤子
可決	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
可決	教育委員会の委員の任命について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
可決	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
可決	財産の処分について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
認定	平成 29 年度東員町一般会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
認定	平成 29 年度東員町国民健康保険特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×
認定	平成 29 年度東員町後期高齢者医療特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
認定	平成 29 年度東員町介護保険特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×
認定	平成 29 年度東員町下水道事業特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
可決	平成 29 年度東員町水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
可決	平成 30 年度東員町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
可決	平成 30 年度東員町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
可決	平成 30 年度東員町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
可決	平成 30 年度東員町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
可決	東員町議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	○
可決	学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
可決	児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○

議長(ー)は採決に加わらない。ただし、可否同数の場合は議長裁決。○は賛成、×は反対。

一般質問

町政を問う

1. 南部 豊	11
1. 町づくり政策と将来展望について	
2. 東員町の農業と大豆栽培について	
2. 大谷 勝治	12
1. 町おこしについて	
2. 道路管理について	
3. 川瀬 孝代	13
1. 防災・減災対策について	
2. A E Dの設置について	
3. ロタウイルスの予防について	
4. 山本陽一郎	14
1. 行政について	
5. 山崎まゆみ	15
1. こどもの虐待について	
2. 男女共同参画の推進について	
3. 学校、家庭における子どもの関わり方について	
6. 石垣 智矢	16
1. 東員第一中学校の移転も含めた建て替えについて	
2. ネーミングライツ（施設命名権）について	
7. 大崎 潤子	17
1. 駅前開発について	
2. 水道問題について	
3. 新産業の創造について	
8. 片松 雅弘	18
1. 東員町の健康マイレージについて	

一般質問とは、町政財政全般について、町長の考えや疑問点を質す政策論議のことをいい、定例会のみ行われます。

ただ、今定例会では、8人の議員が一般質問を行いました。

過去の一般質問はこちらから

原稿は質問者が作成したものを掲載しています。



南部
豊



東員駅前開発の事業断念は 課題実現に向け再構築します

問

企画提案選考会で積水ハウスを、事業者候補として決定されました。

①基本となる事業計画など、提出されなかったことを、疑問に思わなかったのですか。

②東員駅周辺の開発事業は、民間会社や各団体を巻き込んだ事業であったと思います。皆さんの反応はどうですか。

③各地区町政懇談会で、説明はされていますが、第一中学校の移転を含め、将来に向けた町づくりの取り組みをどのように考えていますか。

答

町長 ①事業計画の早期の提出を要請していました。

が、積水ハウス内での調整おくれなどを耳にするようになり、不安を感じていました。大企業が確約した本事業への、積極的な取り組みに期待していました。

②事業断念による経過など説明させていただき、お

むね理解いただけたと考えています。

③一つひとつ改めて課題を分析し、施策実現に向けて、再構築していかなければと考えています。

再質問（一問一答）

問

積水ハウスの用地買収価格の提示を求めましたが、知ることができません。以前、情報公開条例に抵触することでしたが、公開できませんか。

答

建設部参事 情報公開条例に該当するのは公文書が対象で、顧問弁護士に相談したところ、口頭による価格の表示ということで、公表すべきでないとの意見でした。

将来の農業政策は

問

「農業を核とした町づくり」として大豆栽培などの取り組みを伺います。

①稼げる農業としてどのようにつなげていくのですか。
②長野県産の「ななほまれ」は、大豆加工品に向いているのですか。
③ブランド化に向けた、ブドウやブルーベリーの進捗状況はどうですか。

答

総務部参事

①本町で栽培実績のない新しい品種の大豆栽培を行い、付加価値の高い大豆加工品開発を行います。

②大豆を丸ごと原料として使用し、超微粒粉砕大豆パウダーを製造することで解決していきます。

③町内の若手農業者を中心に、管理運営を移管し拡大に取り組んでいきます。



待たれる第一中学校移転

おおたにかつじ
大谷 勝治



クラウドファンディングは 導入を検討します

問

町おこしの活性化の呼び水として、夢の実現に挑戦する団体や個人を応援する資金調達手段のクラウドファンディングが三重県をはじめ全国的な広がりを見せています。

町の発展を願い、町づくりに参画をしたい町民は多いと思います。

ふるさと納税もクラウドファンディングの手法の一つだと思われませんが、このことについて町政の現状と課題を伺います。

答

町長 クラウドファンディングは国内でも1000億円規模を超える大きな資金調達手段となっています。

地方自治体でも事業実施の財源確保の手段のひとつとしてクラウドファンディングが注目されており、実際に導入を行っている自治体もあります。

町内外を問わず、賛同を得られるような事業があるかどうかを見極めなければ

なりません。クラウドファンディングは資金調達のひとつの手段として有効と考えます。その導入について検討をします。

ふるさと納税は、地方の弱小自治体の財源確保の観点から、地方自治体の税収を確保しようとするものでした。

今では、カテゴリーショッピングの様相を呈しており、自治体間の競争は過激化しています。

寄付をする個人が得をする分、全国の自治体全体では、必ず税収が減ります。

税金が減収の自治体に対して地方交付税からの補填^{ほてん}はありますが、もともと少なくなくなってきている地方交付税総額が減少します。

総務部長 総務省は寄付型クラウドファンディングをふるさと納税として活用することを期待しています。

今後、取り組む自治体が増加するものと見込まれます。

※クラウドファンディングとは

インターネット経由で不特定多数の人から資金調達を行い、事業などの目的を達成する仕組み。



クラウドファンディングの活用が期待されます

再質問（一問一答）

問

クラウドファンディングの研修を立ち上げたらどうですか。

答

総務部長 すでに職員1人は研修済みです。可能性のある寄付型クラウドファンディングの職員研修を行います。

かわせ
たかよ
川瀬孝代



防災・減災対策は 体制強化に努めます

問

災害の対応、備えについて伺います。

①災害発生時の支援システムとしての事業継続計画（BCP）の作成はどのようですか。

②災害時要支援者にヘルプカードと携帯ケースは災害時に役立ちます。配布としてはどうですか。

③女性視点で作成された「東京くらし防災」を参考に、町の防災ブックを作成してはどうですか。

④手間の要らない乳児用液体ミルクを災害用備蓄としてはどうですか。

⑤災害時のごみ処理の手法はどのようですか。

答

町長 ①各担当課で非常時優先業務を特定するとともに、執行体制

や対応手順、業務継続に必要な資源の確保を定めておく必要があります。今年度中の計画策定を指示しています。

生活部長 ②ストラップ型のヘルプマークを10月から

配布する予定です。持ち運び用ケースは前向きに考えていきます。

③防災対策には、女性の視点に立った取り組みや女性の参画が必要であることは認識しています。

先進的な取り組みを参考に、いつでも身近に見てもらえる方法を研究していきます。

④衛生的で利用しやすいとの情報もあり、必要性を感じていますが、備蓄か物資提供の協定を結んでいる事業者から供給してもらうのかを検討します。

⑤災害廃棄物の処理は、生活環境の保全、公衆衛生の悪化防止、復興への影響から迅速かつ適正に進めなければなりません。

災害廃棄物処理計画では、被災地によって廃棄物を搬入する候補地の選定をする必要があります。その都度、地元と協議をして決定します。処理計画による分別を行い、円滑に処理できるよう対策に努めていきます。

AEDの設置は

問

学校の運動場や体育館を、夜間や休日にスポーツ少年団などが利用しています。いつでもAEDが使用できるように屋外設置への考えを伺います。

答

教育委員会事務局長 設置費用の問題や盗

難、いたずら防止など課題がありますが、命にかかわることですから、幅広く有効に活用できるようにするため検討をしていきます。



多くの人命が助かっています

やまもとよういちろう
山本陽一郎



駅前開発断念の反省と前進を しんし 真摯な行政運営に努めます

問

駅前開発事業の断念に伴い、この計画の最大の事業目的である東員第一中学校の老朽化に関する対応策について聞きます。

答

町長 第一中学校は町の東部に偏在しており、今回の駅前開発エリア内に位置してきました。今回の事業断念により、第一中学校の移転は、現在宙に浮いた状況になっていますが、今後教育委員会を中心に、その規模や位置などについて迅速に再検討し、方向性を決定するよう指示していきます。

教育長 東員第一中学校の移転については、生徒の通学距離の均等化を考慮し、町の中心部に移転することが望ましいことから、役場周辺の文化センター、体育館や武道館など公共施設の共同利用、また防災機能を兼ね備えた学校施設整備検討委員会の中で現在検討を重ねています。

再質問（一問一答）

問

今回の事業断念で地権者や自治会、議会および関係者への説明会において、事業者の不誠実な対応を強く非難されてきた経緯があります。

そのような中で議員の再三に渡る事業者の辞退申し出の提出要求に対し、町長は公開したいと言っていますが、町情報公開条例に基づき弁護士による助言を盾に、いまだ応じていません。議会に提出された辞退申出概要書については、ほぼ同趣旨の内容であるというなら堂々と公開すべきと思いますが、どうですか。

答

町長 公開条例に基づき弁護士のアドバイスを受け、いまだ公開していませんが、条例には罰則規定がないことから公開に向けて検討します。

問

今回のずさんで計画性に欠ける事業計画によって、多大の混乱と遅滞を招いた行政運営に対し、強く反省を求めます。

答

町長 今回の駅前開発の断念に伴い、心ならずも大変なご迷惑とご心配をお掛けした関係者の皆さんに深い反省と遺憾の意を表します。今後は今回の反省を基に真摯な行政運営に努めていきます。



計画断念

やまぎ
山崎まゆみ



生徒間トラブルに学校の対応は 丁寧に対応しています

問 児童・生徒間でトラブルがあったとき、小・中学校ではどう対処していますか。

答 教育長 三重県教育委員会作成の『学校管理下における危機管理マニュアル』を基本に対応しています。

①被害生徒に寄り添い、慎重な事実関係の聞き取りをします。②トラブルが起きた背景や時間的な経過、関係者など、具体的に確認します。③保護者に対しては可能な限りの事情を把握し、当日複数の教員で家庭訪問します。④事後措置として、被害生徒が今後の学校生活を送る上で、希望や展望が持てるような心のケアを図り、援助体制を確立させます。

加害生徒に対しては、問題行動の内容や家庭状況などのアセスメントを十分行った上で、関係機関と連携して再発防止のための指導をします。校長は事実の経

緯を正確に記録したものを整理し、文書で教育委員会へ報告します。

以上のポイントを踏まえながら、中学生には思春期の特性やプライバシーを考慮し、小学生には正確な事実関係の把握に留意しながら、日々起こりうるさまざまな事象に丁寧かつ臨機応変に対応しています。

女性の社会参画は

問

東員町では、さまざまな活動に参画する機会について、男女間の格差を積極的に是正しようとしていますか。

答

町長 国は各審議会や委員会など、政策方針決定の場で、女性割合を2020年までに30%にする目標であるのに対し、東員町は2022年までに35%が目標です。

今後、女性の活躍いかんで本町の将来が左右される



すべての子どもが愛し愛されるように

と考えています。町の意思決定の場に、できるだけ多くの女性の参画を願っています。

町の子育て支援や学童保育を充実させるなど、女性が安心して社会進出できる環境を整備し、現在、今年度末の成立を目指して『男

女共同参画条例』の制定を進めています。

男女がともに地域づくりを担う主役として活躍できる、東員町のまちづくりを進めています。

いしがきともや
石垣智矢



第一中学校の移転は 2年以内に判断します

問

第一中学校の校舎は、築56年が経過しています。本年6月に東員駅周辺の開発事業を断念しましたが、今後、移転も含めた中学校の建て替えを、どのような方針のもと進めていくのか伺います。

答

教育長 移転を含めた建て替えの方針は、その位置や人口推移などを見極めた上で、将来の学校施設のあり方を検討する必要があります。

そこで「東員町学校施設整備計画検討委員会」を設けて、町内小中学校の基本構想と庁舎周辺の公共施設を共用した第一中学校の移転事業について検討しています。庁内関係部署と連携し、教育委員会の方針を早急に示す考えです。

再質問（一問一答）

問

東員町公共施設等総合管理計画には、第一中学校の耐用年数は60年に設定されています。あと4年で本当に建て替えが実現するのですか。

答

教育長 60年をめぐって考えていますが、



第一中学校の体育祭

校舎の長寿命化も行っています。あくまでも60年を目標に建て替えを進めていく予定です。

問

これだけの大きな事業には、進行プランをふまえた事業計画書が必要だと考えます。いつ示していただけますか。

答

町長 事業計画書をいつ作成するかは明確には言えませんが、移転するかどうかの判断は2年以内に行います。校舎の寿命が近づいているので、早急に取り組んでいきます。

ネーミングライツは

問

公共施設の維持管理費確保の新たな手段として、ネーミングライツ制度（施設命名権）を導入してはどうですか。

答

総務部長 本町の維持管理費確保の取り組みは、広報紙や町民カレンダーなどに掲載する広告収入があります。本年度は新たに、オレンジバスに車体広告を掲載できるような取り組みを進めています。

広告収入の観点から、ネーミングライツについても、町内外の企業にどのような方法なら可能性があるのか、意見を伺いながら研究していきたいと考えています。

おおさきじゅんこ
大崎潤子



駅前開発の断念は 責任を感じています

問

駅前開発はこれから
の町づくりに大きな
影響を及ぼす大問題です。

7月1日から8月12日ま
で全自治会で町政懇談会が
開かれ、駅前開発、一中移
転、高齢者対策、三和地区
の開発などたくさんさんの意見
が出されました。

特に、駅前開発は町長自
ら先頭に立つてオール東員
で頑張っていくと旗を揚げ
たにも関わらず、わずか半
年で断念を表明しました。
脇が甘かったの一言に尽き
ます。

町長は、私の責任だと山
田自治会で述べています。
また、北大社の住民からは
「信頼を取り戻すのはかな
り難しい」「信頼回復のた
めには言葉じゃなくて行動
で示してほしい」との声が
あります。

次の2点を不退転の決意
で取り組むよう求めます。
開発断念に伴い、残され
た課題解決をどう考え、説
明責任をどのように果たさ
れますか。

また、政治責任について
どう考えますか。

答

町長 開発には町の
将来を見据えた6点
の施策を掲げていました。

①新たな住民の定住化②三
岐鉄道北勢線の活性化③笹
尾・城山地区における高齢
者の一部の受け皿④老朽化
に伴う本町東部に偏在する
東員第一中学校の移転、建
て替え⑤商業系施設、医療
と介護施設の誘致⑥本町が
目指す「新産業づくりプロ
ジェクト」の拠点づくりで
す。

少し時間は掛かりますが、
課題を改めて分析し、検討
を行い、実現に向けて再構
築しなければならぬと考
えています。

特に第一中学校の課題は
関係部署と連携し、移転に
向けて検討していきます。

説明責任は、地権者の方
に対して6月28日、29日に
報告を行い経緯の説明とお
詫びをしました。町民の皆
さんには、町政懇談会で説

明を行い、ホームページや
「広報とついで」9月号に
内容を掲載しました。

必要な政策が断念によつ
て検討の再考を余儀なくさ
れたことに大きな責任を感
じています。

6点の政策を丁寧に進め
ることが私に与えられた責
務と考え、その責任を果た
してまいります。



どうなる第一中学校

かたまつまさひろ
片松雅弘



町独自の健康マイレージは ポイント付与を考えます

問

今後ますます高齢化が進み、医療費・介護保険などの義務的経費に多額の費用が必要となつてきます。高齢化の問題だけでなく、生活習慣病の予防が大切になってきます。特に東員町は「健康活躍のまち」「健康寿命の高いまち」として三重大学と共同で調査・研究を行うなど、健康に関心の高い町だと思つています。三重県では市町とともに「三重とこわか健康マイレージ事業」が本年7月より始まっていますが、町としての取り組みはどうなっていますか。

答

福祉部長 県のマイレージ事業は、県民

が食生活や運動などの生活習慣改善の実施、健康診断の受診、地域活動に参加するなどにより、一定のポイントを獲得した方に「ちよつとしたご褒美がもらえる」といった事業です。どういった健康づくりに取り組んでいたかを考えるのが市町です。そしてちよつとしたご褒美にあたるのが、県が発行する「三重とこわか健康応援カード」で、健康づくりに取り組んだ方はこのカードを入手でき、協力店でカードを提示すると、さまざまな特典が受けられます。

独自のマイレージ制度については現在検討中です。町が実施している各種がん検診を受診したり、生活習慣病予防教室や子育て支援関係に参加していただいたらポイントを付与できるよう考えています。その他のポイント付与は、関係各課と協議していきたいと考え

ています。

県では7月1日から始まり、町では今年度より実施予定です。新しい事業ですので、制度の認知および定着に向け、県と一丸となり周知に努めます。



今年度中の実施を目指します

兵庫県養父市・豊岡市

研修日6月28日・29日

教育民生常任委員会

みんなの見守りで安心

1日目は兵庫県養父市に「安心見守りネットワーク事業」を視察研修しました。全国的に少子高齢化が進み、地域や家庭の支え合いの基盤が弱くなっています。

養父市では地域福祉計画を基に、これまで行っていた縦割りでの活動を、行政

・企業・住民・各種地域団体などと連携した「横のつながり」に切り替えて取り組んでいます。

幅広い地域住民の参加を得ながら、学校区単位の「地域自治組織」で生活上の地域での問題や支援体制づくりに行政と協働して、安全で安心して暮らせるコミュニケーションづくりを積極的に行っていました。

東員町でも、地域で支え合う支援体制を確立する地域づくりが住民にとって重要と感じました。

歩いて健康づくり

2日目は豊岡市の「歩いて暮らすまちづくり構想」を視察しました。

市では、主な死因と介護認定の主要原因を分析した結果、糖尿病などの生活習慣病を起因としたものが多いことが判明してきました。

そこで個人の問題とわがちな「健康づくり」に対して、歩いて暮らすまちづくり条例を制定しました。健康ポイント制度の「歩キング推進事業」など、誰でも楽しく健康づくりに参加できる取り組みを実施しています。また、職場對抗歩キング選手権を開催するなど企業の参加も企画し、市全体で取り組んでいます。

自分の体力に合った運動目標を決め、達成状況に応じたポイントを獲得することができます。ポイントは施設利用券または図書カードと交換、小中学校への寄付もできます。

東員町でも必要な「健康づくり」であると感じました。



探求しつづける 議会だより

全国町村議員会館

研修日7月10日

議会広報常任委員会



全国町村議会議長会主催の町村議会広報クリニックに参加しました。今回の評価ポイントは、住民全体の議会だよりとして議会活動で調査や研究、政策審議などが伝わっているのか、子育て世代や若年世代も関心

を持つ紙面づくりなのか、住民参加がされているのかなどありました。

とういん議会だより135号に対し、次の評価を受けました。

①表紙の写真はとても良い。ただし「議会だより」の文

字の色使いが合っていない。

②表紙の見出しは強調したいページのタイトルを絞っているのが良い。

③条例のページなどは、見出しを整理し、縦書きばかりにせず、縦横のバランスを考えると良い。

④一般質問の顔写真は斜めすぎるので工夫した方が良い。

⑤住民参加の記事を取り入れると良い。

⑥QRコードを取り入れているのは良い。

想像以上に高評価でしたが、今後の課題も明確になりました。

今回は広報クリニックへ参加した他町村の広報誌の評価も参考になりました。また、今後の取り組みとしては議会としての仕事を理解してもらうために争点や



論点を伝え、話題になった特集を組むなど、これから多くの方に興味を持って読んでいただけるよう、広報誌の作成に取り組んでいきます。

石川県小松市・富山県富山市

研修日7月18日・19日

総務建設常任委員会

生産・加工・販売

6次産業の取り組み

1日目は小松市で6次産業化に関わる「こまつ・アグリウェイプロジェクト」と「こまつもんブランド」について研修しました。

平成25年に、株式会社コマツ、J A小松市、小松市の三者が連携協定を結び、6次産業化や農業振興を目的とする「こまつ・アグリウェイプロジェクト」をスタートさせました。

このプロジェクトは最先端技術を活用し、独自の加工品や農作業の効率化などを目指しています。

主な取り組みは、小松トマトのハウス栽培です。従来は経験や勘に頼る農作業を、ICT技術を導入しデータ化することで、毎年同じ大きさのおいしいトマト

を安定して作る農業経営を実現しています。

また、ピュウレ化事業では、今まで廃棄されていた農産物をすりつぶすことにより、飲食店や事業者でもオリジナルメニューに取り組んでいます。

「こまつもんブランド」は、小松市産農産物を使用する商品を開発し、ブランド認定する取り組みです。認定ロゴマーク表示をすることで消費者の信頼を高め、需要拡大につなげています。

拠点集中型のまちづくり

2日目は、富山市に視察研修を行いました。

富山市は、高齢化問題に対応するため、公共交通を軸とした拠点集中型のまちづくりを実現させています。

公共交通を活性化させて、居住・仕事・商業・文化施設などの都市機能を集中させることにより、管理コストを削減することにもつながります。

主な取り組みは、日本初のLRTシステムです。路面電車を新たなライトレールによりがえらせて、歩いて暮らせるまちづくりを推進しています。

車両の低床化や65歳以上対象の専用定期券など、高齢者でも利用しやすい運行サービスを行っています。高齢者の外出機会を多くすることにより、健康促進や世代交流にもつながっています。

また、中心市街地への居住を推進するため、住宅を

購入する市民に対して助成を実施しています。これにより、平成20年から転入超過を維持しています。

今後、本町でも少子高齢化の対策が必要になります。研修したことを参考にし、より良いまちづくりにつなげていきます。



9月6日、7日にシニアカレッジの皆さんが9月定例会一般質問を傍聴されました。
たくさんの感想をよせていただきました。(紙面上の都合により、一部を掲載します)

傍聴者の声

駅前開発の断念に対して町の説明責任が不明確。

ヘルプカード、液体ミルクなどの問題は難しいことを知り、勉強になりました。

町の施策、事業計画が不明確で、議会・議員の質問と答弁がかみ合っていない。

第一中学校の移転。町長より「引き続き取り組んでおり、動き出している」との答弁。期待している。

全体としては議員の方、行政担当者ともに真剣に取り組んでみえる。緊張感をもって臨んでいただきたい。

議会傍聴について、日頃はテレビ等で情報を入れているが、生で見学すると内容が頭に残りやすいと感じました。

事業計画等について、成果目標は出来る限り数量的に表現願います。

初めての傍聴の機会をいただき楽しみに体験させてもらったところ、想像していた以上に緊張感があり、質疑応答もわかりやすく、真剣に調査され取り組まれている姿に安心して聞かせてもらいました。今後時間がとれたら、できるだけ傍聴させてもらいたいと思います。

質問（議員）に対する回答は、やはりもっと具体的になっているとうれしさがあると思いました。

たくさんのご感想、
ありがとうございました。

大豆栽培に取り組む政策について関心を持ちました。加工品開発にも期待しています。早急に進めてほしい気持ちです。

AEDの使い方、講習会の必要を感じました。

東員町の農業と大豆栽培について。質問、答弁を傍聴して、東員町の置かれている実情が理解でき、大変勉強になった。これから、もっと我が町への関わりを強めていきたい。

防災減災対策。日々何が起るかわからないので、なるべく早く防災ブックの配布をお願いしたい。黄色リボン（布）はよい感じだと思います。全体に広がると良いと思います。

追跡

あの質問は どうなったんや？

議員が、過去の本会議で行った一般質問の中から、その後どのように町政に反映されたかを追跡し、皆さんにお知らせします。

こうなりました



ヘルプカードは平成 30 年 3 月から
ヘルプマークは 10 月から配布されています。

ヘルプカードの導入は

Q さまざまな障がいのある人たちが、日常生活や緊急時に周囲に支援を求める手段として、活用されるヘルプカードの導入の考えはありませんか。
(平成 26 年 3 月議会)

A 緊急時には有効であると認識しています。障害者計画などの作成時にニーズ把握や関係者と議論をし、検討します。

簡単・すぐにできる

ちょっとした防災の備え

皆さんの声を聞かせてください
読みやすく分かりやすい「議会だより」の作成に心掛けています。皆さんが読まれてどう思われますか、どう感じますか。
「意見、」感想をお聞かせください。



公衆電話も災害時の連絡手段の一つです。公衆電話の使い方を知らない子どもに使い方の練習を。
小銭を持たせ、保護者の電話番号を暗記させたり、番号を書いたメモを持たせると、より安心です。

東京都発行『東京くらし防災』より

公衆電話の使い方を
子どもに教えておく

議会クイズ

問題の答えはすべて議会だよりの中にあります。

よく読んで答えてください。

問1 オレンジバスの運行状況が分かるシステムの名前は何でしょう。

問2 国に意見書を提出した件数は何件だったでしょう。

問3 議会広報常任委員会の視察研修日は何月何日でしょう。

▼応募方法／官製はがきに答え・住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、また議会へのご意見・ご感想などありましたら、一緒に記入してお送りください。

▼あて先／〒五一一〇二九五

東員町山田一六〇番地
東員町議会事務局

▼締切り／平成30年11月30日
(当日消印有効)

※正解者の中から抽選で15人の方に図書カードをプレゼントします。

まちの話題

町内初のボルダリングジム

東京五輪の追加種目にも決定されたボルダリングができる施設を訪ねました。

キッズウォールを備えたジムで親子でボルダリングが楽しめます。

子どもから高齢者まで幅広い年齢層に利用され、交流の場になっています。

「課題をクリアしたときの達成感は最高で、登りたい気持ちがあれば誰もが楽しめます。」とスタッフが語っていました。



※ご記入いただきました個人情報については、商品発送および読者の声などの目的以外には一切使用いたしません。ただし、行政側に対するご意見・ご質問などの場合は、その内容に応じ、担当課から報告または回答をさせていただく場合もあります。

次回の定例会は
平成30年12月3日に
開会予定です。
傍聴、お待ちしております。



身近な物で防災訓練

赤ちゃん防災講座

議会広報常任委員会

委員長／三林 浩

副委員長／山崎まゆみ

委員／大谷勝治・近藤敏彦
南部 豊・川瀬孝代

議員の寄付は罰則をもって禁止されており、議員に寄付を求めることも禁止されています。

また、年賀状など（答礼のための自筆によるものを除く）を出すことも禁止されています。

一般質問の議事録はホームページで公開しています。議会事務局でも閲覧できます。